職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日	校長名			所在地			
経専音楽放送芸術	専門学校	昭和51年7月31	日	中田 靖泰	〒062-0 札幌市	豊平区平岸3条27	Г <u> </u>			
設置者名		設立認可年月	日	代表者名		(電話) 011-821	1-2155 所在地			
学校法人経専	[学園	昭和48年4月24	В	山本 清	〒005-	·0004 南区洛川/冬/丁 B	∃1_1			
分野		8定課程名		認定学	利夕	南区澄川4条4丁目 (電話)011-824	4-1000 専門士		宣由	専門士
			音楽・	<u> </u>		・マネージャー専	平成7年文部科学省	î	同以	(寺门工
文化・教養		教養専門課程		攻			告示第八十四号			
学科の目的	音楽・放:	送分野の専門知識	と専門技	支術を修得するとともに	、社会人	としての常識・マナ-	一を兼ね備えた人材育成を	行って	いる。	
認定年月日	平成26年	3月31日 全課程の修了に必要な								
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位数		講義		演習	実習		実験	実技
2年	昼間	1732時間		480時間		405時間	847時間		O時間	O時間 単位時間
生徒総定	Ą	生徒実員		留学生数(生徒実員の内	Į	厚任教員数	兼任教員数		総	教員数
420人		45人		0人		1人	21人		2	22人
学期制度	■2期・ ■3期・	5期:4月1日~6) 6期:7月1日~9) 7期:10月1日~ 8期:1月1日~3)	月30日 Ⅰ2月3	l 1日		成績評価	■成績評価の基準・方法 各学期に行う試験結果 S・A・B・C・Dで判断	及び履		総合的に勘案し、
長期休み	■夏 ■冬 ■学年2	始: 4月1日 季: 7月19日~8月 季: 12月26日~1 末: 3月7日~3月:	月13日			卒業·進級 条件	各学年における履修科 総授業時間数の90%以			
学修支援等	■個別相	.担任制: 相談・指導等の対け とは部長・課長との		指導		課外活動	■課外活動の種類 特になし	4	#	
就職等の 状況※2	音楽·放 ■就職打 1年生4 試験卒業計 ■就職報 ■就職報	指導内容 月から就職関連技 表、面接対策等)を 者数 希望者数 者数 を を を を を を を を を を を を を	業(業実施し割合	界研究、履歴書作成 プロいる。 30 30 30 100% 100%	人 人 人 %	主な学修成果 (資格·検定等) ※3	資格・検定名 サービス接遇実務 検定2級 サービス接遇実務 検定3級 ※種別の欄には、各資格・検定 るか記載する。検定のうち、修了 ②書資格・検定のうち、修了 ③もの他(民間検定等) ■自由記述欄	他・民者 ③ ③ ③ ③ はたついると同時に	間検定等 に関する令和3年 受験者数 24名 25名 C、以下の①~3 取得可能なもの	
中途退学 の現状	令和3年 令和4年 ■中途 進路変動 ■中退即 年度当初	4月1日時点におい 3月31日時点におい 8学の主な理由 更、体調不良 防止・中退者支援に目標を設定し、毎週	のための職員	学者61名(令和3年4月 E学者58名(令和3年3 の取組 会議にて出席状況の確認	月31日卒	者を含む) 業者を含む)	率 4.9	70		
経済的支援制度	進級時奨 ■専門第 ※給付が ■民間の	実践教育訓練給付 対象の場合、前年 の評価機関等から	- 努力し : 給 度の給 第三者	優秀な成績を修め他の学 合付対象 0名 合付実績者数について 哲評価: 無	生の模範		進級時に支給します。返済の	必要は	ありません。	
学校評価	(評価団		価結果	具又は評価結果を掲 載	載したホー	-ムページURL				
当該学科の ホームページ URL	URL:ht	tps://www.keisen	-house	ou.com						

(留意事項)

、日本学校) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- います

- います。
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
 ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数の方ち就職者診数の占める割合をいいます。
 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者としません(就職したが就職たが不明の者は就職者として扱う)。
 (3) 上記の民か、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進受共同等について記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進受共同等について記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

る。主な学修成果(※3) 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入資状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- 本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含め た多様な教育プログラムで実施する。
- ・実践的な設備の充実と早期からの多様な実習による「基本的な知識、技能の習得」
- ・業界講演会や卒業生による職業体験談を通しての「キャリアプランニング能力の育成」
- ・年間2回開催する教育課程編成委員会によるキャリア教育における実習等の状況の振り返りと教育活動の評価・改善の 実施

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は学校長のもとに位置付け、教育課程編成委員会で企業及び業界団体等の意見・助言を活かしたカ リキュラムの改善を図る。決定事項は部長を通じ、教務課長から教務へと周知し教務全体で意思統一を図る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

	名 前	所 属	任期	種別
字 井	信之	北海道映像関連事業社協会 会長	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	1
風上	哲也	北海道音響事業協会 理事	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	1
桒重	信雄	株式会社ステージアンサンブル 代表取締役社長	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	3
竹島	智之	株式会社FMノースウエーブ 取締役	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	3
片岡	朋子	経専音楽放送芸術専門学校 部長	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	
一岡	永	経専音楽放送芸術専門学校 教務課長	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	
笹出	将太	経専音楽放送芸術専門学校 教務	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	
千葉	彩乃	経専音楽放送芸術専門学校 教務	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	
作山	厚	経専音楽放送芸術専門学校 教務	令和3年10月1日~令和5年9月30日(2年)	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時(実績)

第1回 令和4年3月28日 13:30~15:00 第2回 令和4年10月4日 13:30~15:00(予定)

年間2回(3月、9月)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

現在設定している各教科科目における時間数や内容に関してアドバイスを頂き、新年度のカリキュラムに反映させた。また、学生が不足している知識・技術についてもアドバイスを頂き、新たな教科科目の開発に役立てている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせる為のキャリア形成支援を職業実 務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。現場見学をはじめ、業界の動向やその職業に従事するにあ たって必要な知識、技能、能力や態度について実感をもって理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業等との連携により、業界のプロとして経験豊富な講師が、業界現場に必要な知識・技術を学生に教え込む。学内施設 を使用しての実習・演習のみならず、科目によっては、現場見学等を行い、学内で学ぶ専門技術と実際の現場体験を結び つける教育効果をねらい、また、職業意識の形成や学生個人の適性や志向に照らし、具体的に進路を考える能力を育成さ せる。また評価については、年2回定期試験を実施して知識・技術の習得度により評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載

	科 目 名	科目概要	連携企業等
		イベントを行うにのの具体的なパノバリを理解する。企画 のプレゼンテーション資料作成から集客予測まで、幅広く 学ぶ	ラッキーワゴン
ı			

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の授業内容・授業方法及びクラス運営を改善し、指導力を向上させるとともに、教員の学校運営に係るマネジメント能 力などの習得、向上をねらいとして計画的に行う。これらは学園の教職員研修規定に定められている。

教育支援活動として協力いただいている企業との「必要とされる専門知識・技能の習得」を目的とした研修を実施する。

・学生指導力向上を目的に、学生指導の方法・対応について意見交換を行う会議・研究会を実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「HSBA機器展特別セミナー」 (連携企業等:北海道音響事業者協会)

期間:令和3年度12月 対象:教職員

内容

同協会が主催する音響機器展で大手6社による最新技術情報についての特別セミナーに参加し、最新の音響機器の知 識と業界関係者との懇談会により業界展望の情報を取得している。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教員研修」 (連携企業等:北海道専修学校各種学校連合会)

期間:令和3年12月23日 対象:教職員

内容

北海道専修学校各種学校連合会主催の教員研修

※①新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「HSBA機器展特別セミナー」 (連携企業等:北海道音響事業者協会)

期間:令和4年12月 対象:教職員

内容

同協会が主催する音響機器展で大手6社による最新技術情報についての特別セミナーに参加し、最新の音響機器の知 識と業界関係者との懇談会により業界展望の情報を取得している。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教員研修」 (連携企業等:北海道専修学校各種学校連合会)

対象:教職員 期間: 令和4年8月2日

内容·

北海道専修学校各種学校連合会主催の教員研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育 環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委 員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 _____ 学校が設定する評価項目 ◆学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ◆学校におけ (1)教育理念 目標 ◆目的等に沿った事業計画が策定されているか ◆運営組織や意思 (2)学校運営 決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能してい るか ◆人事、給与に関する規定等は整備されているか ◆教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されてい るか ◆授業評価の実施・評価体制はあるか ◆成績評価、進級・卒 (3)教育活動 業判定基準は明確になっているか ◆就職率の向上が図られているか ◆資格取得率の向上が図られて (4)学修成果 いるか ◆退学率の低減が図られているか ◆進路·就職に関する支援体制は整備されているか ◆学生相談に関 (5)学生支援 する体制は整備されているか ◆卒業生への支援体制はあるか ◆施設・整備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている か ◆学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について充分な教育体制を整備しているか (6)教育環境 ◆学生募集活動は、適正に行われているか ◆学生募集活動におい て、教育成果は正確に伝えられているか ◆学納金は妥当なものと (7)学牛の受入れ募集 なっているか ◆予算·収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ◆財務につ (8)財務 いて会計監査が適正に行われているか ◆法令、専修学校設置基準等の尊守と適正な運営がなされているか ◆個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ◆自己 (9)法令等の遵守 評価の実施と問題点の改善を行っているか (10)社会貢献·地域貢献 (11)国際交流

(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学修成果について:新卒者に期待する事、求める事などを確認し、就職指導の授業に活かしている。 委員から専門知識・技術に加えて社会人としての自覚を喚起してほしいとの意見があり、外部講師を招いてのセミナーを

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
津嶋 徳一	株式会社札幌映像プロダクション 代表取締役社長	令和4年5月1日~令和6年4月30日(2年)	企業団体
米永 道裕	北海道高等学校文化連盟	令和4年5月1日~令和6年4月30日(2年)	高等学校
千葉 敬太	三穂電機株式会社	令和4年5月1日~令和6年4月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: https://www.keisen-housou.com

公表時期: 令和4年8月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育 環境、学校運営の状況について評価委員を置き、点検及び評価を行い、その結果を公表することとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(4) 守口子校にのける情報徒法寺への収租に	封りるカイドノイン」の項目との対応
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の沿革・歴史、学校の教育目標
(2)各学科等の教育	卒業後の進路
(3)教職員	教職員の組織・活動
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	活用できる就学支援措置の内容等(授業料減免措置、奨学金の案内)
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)情報提供方法

ホームページ上にて公開。 URL: https://www.keisen-housou.com

授業科目等の概要

	文化	• 教	養専門課程	音楽・放送芸術科 【コンサート・イベント『	∮攻 】	202	2年月								
	分類	/m!						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
	0		選択実習	9科目の実習より3科目を選択し、音楽・ 放送業界の仕事を広く浅く理解し、2期か ら進む専攻選択の参考にする。	1 • 1 期	27				·····································	0			0	
0			専攻基礎実習	希望している専攻の知識・技術を、実習を 通じて広く浅く習得し、仕事としての適性 を見極める。	1 • 1 期	79				0	0			0	
0			専攻授業	2期(後期)から進みたい専攻の実習を学び、専攻で必要な実践的な技術を身につける。	1 • 1 期	65				0	0			0	
0			コース基礎座 学	入学時に希望した専攻に必要な分野の座学 を学び、基礎的な知識・技術を理解する。 「デジタル基礎」「電気基礎」	1 • 1 期	16		0			0			0	
0			音楽基礎	音楽の基礎を通して、音符・休符・拍子・ 音楽記号・各楽器・音階・調号を理解す る。	1 • 1 期	20		0			0			0	
0			音響理論	音のしくみや音の伝わり方などの、基礎知 識をはじめ、音の周波数や音響心理等につ いて学ぶ。	1 • 1 期	9		0			0			0	
0			イベント概論	仕事として関わるイベントとは何か、また 関わるスタッフの業務内容を学ぶ。	1 • 1 期	10		0			0			0	
0			時事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を考察・研究し、業界人としての視野を広げ る。	1 • 1 期	10		0			0			0	
0			就職ガイダン ス	希望の就職に就けるよう、企業検索及びエントリーの方法、履歴書の自己PR・志望動機の作成、電話のかけ方、面接でのポイント等を学ぶ。	1 • 1 期	10		0			0		0		
0			履歴書作成講 座	履歴書の具体的な書き方、ポイント等を学 ぶ。	1 • 1 期	9		0			0			0	
0			ペン字講座	美しくきれいな字を書けるよう、ペン字講 座を通じて学ぶ。	1 • 1 期	10		0			0			0	

0	学校行事	入学式、オリエンテーション、個人面談、 健康診断、歓迎ライブ。	1 • 1 期	19			0	0	0	
0	ホームルーム	」 連絡事項伝達、ディスカッション等。	1 • 1 期	9	0			0	0	
0	専攻基礎実習	決定した専攻の知識・技術を、実習を通じ で広く浅く修得し、仕事としての適性を見 極める。	1 · 2 期	49			0	0		0
0	専攻授業	決定した専攻の必要科目を、講義・演習・ 実習を通じて広く学ぶ。	1 • 2 期	32			0	0		0
0	コース基礎歴	専攻に必要な分野の座学を学び、基礎的な知識・技術を理解する。 「デジタル基礎」「電気基礎」	1 • 2 期	10	0			0		0
0	音楽基礎	楽譜進行の読み取りを学ぶ。	1 . 2 期	6	0			0		0
0	音響理論	音のしくみや音の伝わり方などの、基礎知識をはじめ、音の周波数や音響心理等について学ぶ。	1 · 2 期	4	0			0		0
0	イベント概記	イベントのあり方、企画・運営等の基礎を 倫修得する。また、イベントに関わる者とし ての心得を学び、ものの考え方を学ぶ。	1 · 2 期	3	0			0		0
0	時事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を考察・研究し、業界人としての視野を広げる。	1 · 2 期	3	0			0		0
0	就職ガイダンス	希望の就職に就けるよう、企業検索及び ハネットエントリーの方法、履歴書の自己 P R・志望動機の作成、電話のかけ方、面接 でのポイント等を学ぶ。	1 • 2 期	3	0			0	0	
0	履歴書作成記 座	 履歴書の具体的な書き方、ポイント等を学 ぶ。	1 · 2 期	4	0			0		0
0	ペン字講座	美しくきれいな字を書けるよう、ペン字講 座を通じて学ぶ。	1 • 2 期	3		0		0		0
0	定期試験	1年次2期末の試験を各科目実施。	1 • 2 期	10		0		0		0
0	学校行事	定期公演。	1 · 2 期	3			0	0	0	

	 -			Ι.	1							
0	ホームル	ノーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	1 • 2 期	4	0			0	0		
0	就職ガイ ス		希望の就職に就けるよう、企業検索及び ネットエントリーの方法、履歴書の自己 P R・志望動機の作成、電話のかけ方、面接 でのポイント等を学ぶ。	1 · 3 期	9	0			0	0		
0	時事研	f究	社会で起きている様々な事件・事故等を考 察・研究し、業界人としての視野を広げ る。	1 • 3 期	9	0			0		0	
0	イベント II		『K-1ライブ』の実施を通して、イベント企 画・制作・運営の基礎を学ぶ。	1 • 3 期	55		0		0	0		
0	体カトレ ング		業界人として必要となる、基礎体力維持及 び強い身体と精神を身につける。	1 · 3 期	12			0	0		0	
0	プランニ II	ング	企画工程を再確認するとともに、実施案の 意味と必要書類について学ぶ。	1 • 3 期	1	0			0		0	0
0	DTP実	習Ⅱ	パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケッ ト、印刷物などの制作方法を学ぶ。	1 • 3 期	27			0	0		0	
0	アーティ プロモー ン I	-ショ	音楽プロモーター業務の応用を模擬実践に より学ぶ。	1 · 3 期	12	0			0		0	
0	ビジネンナー		ビジネスで必要になる様々なマナーや決ま り事などを理解し、「サービス接遇実務検 定3級」の合格を目標とする。	1 · 3 期	10	0			0		0	
0	HP作成	ΙĴ	WEBサイトを制作しながらHTMLタグの役割を 学ぶ。	1 · 3 期	12			0	0	0		
0	照明基礎 I	実習	基本的な前期の復習と操作卓の取り扱い方 法を学ぶ。	1 • 3 期	13			0	0		0	
0	制作実	習 I	現場における制作の役割及び進行方法を実 践をもって学ぶ。	1 · 3 期	24			0	0	0		
0	パソコン	/実習	資料作成に必要なPCソフト(ワード、エクセル、他)の役割・機能を知り、実際に資料づくりにチャレンジしてみる。	1 · 3 期	14			0	0		0	
0	CAD集	習 I	パソコン操作及びCADソフト 「VectorWorks」の基本操作を学ぶ。	1 · 3 期	27			0	0		0	

			Г	1 4	1	ı							
0		学校行事	オリエンテーション、K-1ライブ。	1 • 3 期	15				0	0	0		
0	7	ホームルーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	1 • 3 期	9		0			0	0		
0	京	就職ガイダン	希望の就職に就けるよう、企業検索及び ネットエントリーの方法、履歴書の自己 P R・志望動機の作成、電話のかけ方、面接 でのポイント等を学ぶ。	1 • 4 期	5		0			0	0		
0			社会で起きている様々な事件・事故等を考察・研究し、業界人としての視野を広げ る。	1 • 4 期	5		0			0		0	
0	-		『K-1ライブ』の反省を踏まえ、『新入生歓迎ライブ』・『定期公演』の実施に向けてイベント企画・制作・運営の応用を学ぶ。	1 • 4 期	37			0		0	0		
0	f		業界人として必要となる、基礎体力維持及 び強い身体と精神を身につける。	1 • 4 期	8				0	0		0	
0			情報とイメージによって、実施案各書類を 自分たちで制作する工程を学ぶ。	1 • 4 期	8		0			0		0	0
0	[パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケット、印刷物などの制作方法を学ぶ。	1 • 4 期	15				0	0		0	
0	7	アーティスト プロモーショ ン I	音楽プロモーター業務の応用を模擬実践に より学ぶ。	1 • 4 期	10		0			0		0	
0			サービス接遇実務について理解を持ち、知識と技能を身に付け、コンサート・イベントの制作スタッフや社会人に必要なマナーを学ぶ。	1 • 4 期	7		0			0		0	
0			WEBサイトを制作しながらHTMLタグの役割を 学ぶ。	1 • 4 期	7				0	0	0		
0	Ħ		基本的な前期の復習と操作卓の取り扱い方 法を学ぶ。	1 • 4 期	8				0	0		0	
0		制作実習 I	ライブ実践を通して各セクションの仕事内 容を理解し、制作進行の一連の流れを学 ぶ。	1 • 4 期	15				0	0	0		
0	,	π	資料作成に必要なPCソフト(ワード、エクセル、他)の役割・機能を知り、実際に資料づくりにチャレンジしてみる。	1 • 4 期	7				0	0		0	

0	C A D実習 I	CADの操作性と図面についての基礎知識を学ぶ。	1 • 4 期	15			0	0		0	
0	定期試験	1年次4期末の試験を各科目実施。	1 • 4 期	10		0		0		0	
0	学校行事	学年末オリエンテーション。	1 • 4 期	3			0	0	0		
0		連絡事項伝達、ディスカッション等。	1 • 4 期	5	0			0	0		
0	就職ガイダン ス ス	主体性をもって就職活動を進めるために必要な知識を学び、内定を得るための面接対策や企業研修時に必要な一般常識を学ぶ。	2 • 5 期	9	0			0	0		
0	マネジメント I	アーティスト、タレントのマネジメント業 務の基礎を学ぶ。	2 • 5 期	14	0			0		0	
0	時事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を考察・研究し、業界人としての視野を広げ る。	2 • 5 期	9	0			0		0	
0	イベント制作 III	「新入生歓迎ライブ」「定期公演」の制作 実践により、企画・制作・運営方法を学 ぶ。	2 • 5 期	75		0		0	0		
0	PA基礎実習 I	基本的な簡易PAシステムの仕組みや仕事の 流れを学び、コンサート・イベント業務に 役立てる。	2 • 5 期	15			0	0		0	
0	ファンクラブ 運営	ファンクラブの具体的な運営方法・ノウハ ウ等を、事例を基に理解し学ぶ。	2 • 5 期	18	0			0	0		
0	ビジネスマ ナーⅡ	ビジネスで必要になる様々なマナーや決ま り事などを理解する。先生が見本を提示 し、班分けして実際に実践してみる。	2 • 5 期	9	0			0		0	
0		業界人として必要となる、基礎体力維持及 び強い身体と精神を身につける。	2 • 5 期	15			0	0		0	
0	DTP実習皿	パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケッ ト、印刷物などの制作方法を学ぶ。	2 · 5 期	15			0	0		0	
0	プランニング III	イベントを行うための、より高度な具体的なノウハウを学ぶ。マーケティングやプロモーションの重要性についても理解する。	2 • 5 期	15	0			0		0	0

0	制	作実習Ⅱ	実際に「ライブ実習」で実践。舞台監督、 進行、ケータリングの具体的な仕事を理解 し、ゲストケア、打ち合わせ方法について も学ぶ。	2 • 5 期	30			0	0	,	0	
0	パン	/コン実習 Ⅱ	資料作成に必要なPCソフト(ワード、エクセル、他)の役割・機能を知り、実際に資料づくりにチャレンジしてみる。	2 • 5 期	15			0	0			0
0	C A	A D実習Ⅱ	パソコンの製図ソフトを使い、舞台図面、 美術セット、看板デザイン等の制作方法を 学ぶ。	2 • 5 期	30			0	0			0
0	当	学校行事	オリエンテーション、個人面談、健康診 断、歓迎ライブ。	2 · 5 期	19			0	0		0	
0	ホー	-ムルーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	2 • 5 期	9	0			0		0	
0	就耶	戦ガイダン ス	主体性をもって就職活動を進めるために必要な知識を学び、内定を得るための面接対策や企業研修時に必要な一般常識を学ぶ。	2 · 6 期	4	0			0		0	
0	マネ	ネジメント I	アーティスト、タレントのマネジメント業務の基礎を学ぶ。	2 • 6 期	6	0			0			0
0	B	寺事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を考察・研究し、業界人としての視野を広げる。	2 • 6 期	4	0			0			0
0	11	・ ジント制作 Ⅲ	「新入生歓迎ライブ」「定期公演」の制作 実践により、企画・制作・運営方法を学 ぶ。	2 • 6 期	30		0		0	,	0	
0	PA基	基礎実習 I	基本的な簡易PAシステムの仕組みや仕事の 流れを学び、コンサート・イベント業務に 役立てる。	2 • 6 期	4			0	0			0
0	ファ		ファンクラブの具体的な運営方法・ノウハ ウ等を、事例を基に理解し学ぶ。	2 • 6 期	10	0			0	,	0	
0		ジネスマ ナーⅡ	ビジネスで必要になる様々なマナーや決ま り事などを理解する。サービス接遇実務検 定2級の取得を目指す。	2 • 6 期	4	0			0			0
0			業界人として必要となる、基礎体力維持及 び強い身体と精神を身につける。	2 · 6 期	4			0	0			0
0	D 1	「P実習Ⅲ	パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケット、印刷物などの制作方法を学ぶ。	2 • 6 期	5			0	0			0

		 ,	_	_								
0		 プランニング Ⅲ	イベントを行うための、より高度な具体的なノウハウを学ぶ。マーケティングやプロモーションの重要性についても理解する。	2 • 6 期	8	0			0		0	0
0		制作実習Ⅱ	実際に「ライブ実習」で実践。舞台監督、 進行、ケータリングの具体的な仕事を理解 し、ゲストケア、打ち合わせ方法について も学ぶ。	2 · 6 期	9			0	0	0		
0		パソコン実習 Ⅱ	企画書及び報告書等の作成に必要なPCソフト(パワーポイント)の役割・機能を学ぶ。	2 • 6 期	5			0	0		0	
0		CAD実習II	パソコンの製図ソフトを使い、舞台図面、 美術セット、看板デザイン等の制作方法を 学ぶ。	2 • 6 期	9			0	0		0	
0		定期試験	2年次6期末の試験を各科目実施。	2 • 6 期	10		0		0		0	
0		学校行事	定期公演。	2 • 6 期	66			0	0	0		
0		ホームルーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	2 • 6 期	4	0			0	0		
0		就職ガイダン ス	内定を得るための面接対策を学ぶ。企業研修時や社会人に必要となる職場でのマナー や周囲との関わり方について学ぶ。	2 · 7 期	9	0			0	0		
0		時事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を理解し、その背景にあるものを考察・研究していく。	2 · 7 期	9	0			0		0	
	0	選択実習	複数の実習から1つの実習を選択。これまで習得してきた知識・技術を、復習・確認するとともに、業界への視野をさらに広げる。	2 · 7 期	27			0	0		0	
0		舞台デザイン	ステージ・舞台設営の基本、デザイン立 案、状況に適した事前準備を学ぶ。ディス カッションにより時間配分や協調性、想像 力を学ぶ。	2 • 7 期	27		0		0	0		
0		著作権論	音楽産業に必要な著作権法を学び創作物の 権利を理解する。また、著作権収入及び著 作権法での問題点を理解する。	2 · 7 期	8	0			0		0	
0		プレゼンテー ション	様々な場面においてのプレゼンテーション テクニックを理解し、「イベントプランニ ング」授業と連動し実践をもって学ぶ。	2 • 7 期	24		0		0		0	
0		 DTP実習Ⅳ	パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケット、印刷物などの制作方法を学ぶ。	2 · 7 期	12			0	0		0	

0			イベントの制作・運営を行うためのテクニックを学ぶ。企画書作成から演出効果及び応用に至るまで、幅広く制作の仕事を理解し、トータルに学んでいく。。	2 · 7 期	54		0		0		0
0		PA基礎実習 Ⅱ	基本的な簡易PAシステムの仕組みや仕事の 流れを学び、コンサート・イベント業務に 役立てる。	2 • 7 期	12			0	0		0
0		マネジメント	マネジメント業務の基礎をもとにアーティストやタレントのマネジメント業務を実践 を踏まえて応用する。	2 • 7 期	13	0			0		0
0			コンサートやイベントの制作スタッフに必 要な接遇などのビジネスマナーを学ぶ。	2 • 7 期	7	0			0	0	
0		音楽研究	様々な音楽ジャンルとそのルーツについて 学び、鑑賞することで深い知識を得る。	2 • 7 期	7	0			0		0
0		マスメディア	日常生活で接する様々なマスメディア(新聞、放送、出版、広告、映画など)について、その概要と産業としての特徴を学ぶ。	2 • 7 期	7	0			0		0
0		カラーコーディネイト	色の持つ効果を知り、仕事に役立つ実践的な色彩の基礎知識学ぶ。ビジネスシーンで 役立つ色彩活用法を学ぶ。	2 • 7 期	10	0			0		0
0		CAD実習Ⅱ	平面図から立体を理解し、3D図面を作成する。また、互換性ソフト(Illustrator、Photoshop)を組み合わせ、企画書作成を学ぶ。	2 • 7 期	12			0	0		0
0		学校行事	オリエンテーション、K-1ライブ。	2 • 7 期	6			0	0	0	
0		ホームルーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	2 • 7 期	9	0			0	0	
0		就職ガイダン ス	内定を得るための面接対策を学ぶ。企業研修時や社会人に必要となる職場でのマナー や周囲との関わり方について学ぶ。	2 • 8 期	5	0			0	0	
0		時事研究	社会で起きている様々な事件・事故等を理解し、その背景にあるものを考察・研究していく。	2 • 8 期	5	0			0		0
	0	選択実習	複数の実習から1つの実習を選択。これまで習得してきた知識・技術を、復習・確認するとともに、業界への視野をさらに広げる。	2 • 8 期	15			0	0		0
0		舞台デザイン	ステージ・舞台設営の基本、デザイン立 案、状況に適した事前準備を学ぶ。ディス カッションにより時間配分や協調性、想像 力を学ぶ。	2 • 8 期	15		0		0	0	

0		著作権論	音楽産業に必要な著作権法を学び創作物の 権利を理解する。また、著作権収入及び著 作権法での問題点を理解する。	2 • 8 期	5	0			0		0
0		プレゼンテー ション	様々な場面においてのプレゼンテーション テクニックを理解し、「イベントプランニ ング」授業と連動し実践をもって学ぶ。	2 • 8 期	15		0		0		0
0		DTP実習Ⅳ	パソコンのデザインソフトを使い、ポップ デザイン、チラシ、ポスター、CDジャケット、印刷物などの制作方法を学ぶ。	2 • 8 期	8			0	0		0
0			イベントの制作・運営を行うためのテクニックを学ぶ。企画書作成から演出効果及び応用に至るまで、幅広く制作の仕事を理解し、トータルに学んでいく。。	2 • 8 期	30		0		0		0
0		PA基礎実習 Ⅱ	基本的な簡易PAシステムの仕組みや仕事の 流れを学び、コンサート・イベント業務に 役立てる。	2 • 8 期	7			0	0		0
0		マネジメント Ⅱ	マネジメント業務の基礎をもとにアーティストやタレントのマネジメント業務を実践 を踏まえて応用する。	2 • 7 期	8	0			0		0
0		ビジネスマ ナーⅢ	コンサートやイベントの制作スタッフに必要な接遇などのビジネスマナーを学ぶ。	2 • 7 期	5	0			0	0	
0		音楽研究	様々な音楽ジャンルとそのルーツについて 学び、鑑賞することで深い知識を得る。	2 · 7 期	5	0			0		0
0		マスメディア	日常生活で接する様々なマスメディア (新聞、放送、出版、広告、映画など) について、その概要と産業としての特徴を学ぶ。	2 • 7 期	5	0			0		0
0		カラーコーディネイト	色の持つ効果を知り、仕事に役立つ実践的な色彩の基礎知識学ぶ。ビジネスシーンで 役立つ色彩活用法を学ぶ。	2 • 8 期	5	0			0		0
0		CAD実習II	平面図から立体を理解し、3D図面を作成する。また、互換性ソフト(Illustrator、Photoshop)を組み合わせ、企画書作成を学ぶ。	期	8			0	0		0
0		定期試験	2年次8期末の試験を各科目実施。	2 • 8 期	10		0		0		0
0		学校行事	学年末オリエンテーション。	2 • 8 期	3			0	0	0	
0		ホームルーム	連絡事項伝達、ディスカッション等。	2 • 8 期	5	0			0	0	

合計	合計 123科目					
	卒業要件及び履修方法					
1700時間以上、定	どめられた時間数を受講後、成績評価を受け合格する。	1 学年の学期区分 4	期			
1700時間以上、足	2001に時间数で文語後、 双傾計画で文リロ恰りる。	1学期の授業期間 15	週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。